

## 公表 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童発達支援事業所 南っ子		
○保護者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19世帯	(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和6年11月25日		～ 令和6年12月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	* 通う事を楽しみにしているようで、利用して自宅へ帰ってくると、活動内容を報告してくれます。	* 利用への期待感を高められるよう、活動の組み方や関わり方を工夫しています。同じ活動でも各グループで学年等が異なるため、ルールの簡易化や遊び方に変化をつけるなどの対応をしています。	* 活動内容の充実や発展に努め、子どもたちが充実感や満足感を味わえるようにする。 * 環境の整備や子どもたちへの対応について研鑽を重ね、安心して過ごせる居場所となるよう努める。
2	* 職員と連絡が取りやすく、送迎の変更などもすぐに対応してくれます。	* 事業所への電話だけでなく、職員の携帯へLINEで連絡していただくことで、送迎場所の変更等にも迅速に対応ができています。	* 保護者からの連絡に対し、これからも柔軟性を持って対応をしていきたい。 * 職員の携帯だけでなく、事業所の携帯電話を導入することで、更に連絡が取りやすくなることも考えられるため、導入について検討する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	* コロナウイルスの影響もあるのか、流行して以降の地域交流が減っている様に感じる。	* 下校時間が揃わないことで事業所で過ごす事も増え、外出する機会(公園での活動など)が少なくなっている。このことにより、以前よりも地域の友達と関わることも少なくなっている。 * 他事業所、学童クラブとの交流がほとんど無い。	* 地域の子もたちと関わる機会を作るためにも、公園等へ出かける回数を増やす。 * イベントの内容や回数について検討する。 * 南さつま市に連携を取り合っている事業所があるので、長期休暇などは交流できるようにしたい。
2	* 子どもの定員に対して、職員の人数が適切であるのかわからない。	* サービスに関する基本的な情報、職員の担当グループや役割について伝えることが欠けていたのかもしれない。	* 年に2回は面談の機会があるので、もう一度サービス提供に関する情報を周知していきたい。 * 4月の園便りでの職員配置だけでなく、職員配置や担当の変更があった時には、保護者へ伝えるようにする。
3			